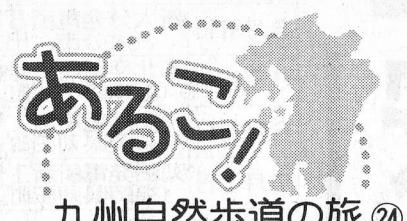


前回(7月15日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」で、福岡、大分県境に連なる経読岳(992メートル)から雁股山(807メートル)まで紹介しました。今月は、福岡県上毛町の大平山(597メートル)へと歩を進めます。雁股山東峰からは、なだらかな林の道を下りていきます。曲がり角ごとに真新しい看板が立っているので分かりやすく歩けます。約1・6キロで雁股峠に到着します。大きな地図付きの看



福島 優

雁股山—大平山

峠の防火線 足取り軽く

板やベンチが設置されています。峠から支線を1・4キロほど下っていくと上毛町の大入地区に着きます。大入からはコミニュニティーバスが通っています。峠からは登り道。こちらもなだらかな道で歩きやすい道です。福士峠からは防火線を歩きま

るための緩衝地。伐採や草刈りなどで整備されています。福士峠からは防火線を歩きます。防火線とは、山火事の延焼を防ぎ、消火活動をしやすくす



大平山の展望台から見えた由布岳

脇を通ります。ここから少し低草が道を覆っていましたが、定期的に看板が立っているため迷うことはない道です。さらに進み、瓦岳(624メートル)手前300メートルほどに大きな岩場群がありますので、ゆっくり乗り越えていきます。こうした岩場はアトラクションの一つとして楽しいですね。

雁股峠から3・3キロで瓦岳へ続く道との分岐点。ここから300メートルほどで瓦岳の三角点ですが、自然歩道は右に曲がります。そして1キロほど進むと福士峠、県道111号に到着です。この

などで一定幅を作り出し、火が燃え移らないようにしているものです。防火線を歩くのは本当に気持ちがよく、ハードな道の疲れも忘れ、ウキウキ気分。

峠から2キロほど進むとアカマツやコナラなど林の中へ。木漏れ日あふれる森林浴にもつてこいの道です。

そして、いいよ大平山山頂へ。山頂直前からついに大分県に突入。大平山の山頂自体は林に覆われ眺望がありませんが、さらに300メートルほど林の中の細い道を歩くと展望台に行けます。展望台からは、由布岳(1583メートル)や八面山(659メートル)、さらに周防灘も見ることができます。

木漏れ日があふれる防火線

